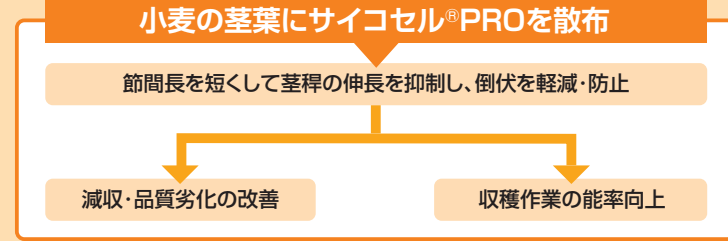


BASF 小麦用ソリューション 植物成長調整剤



麦の威厳を守る構造力学

- 比較的最初(幼穂形成期あたり)から使用可能な倒伏軽減剤です。
- 適正な施肥と組み合わせることで、強く質の高い小麦に育ちます。



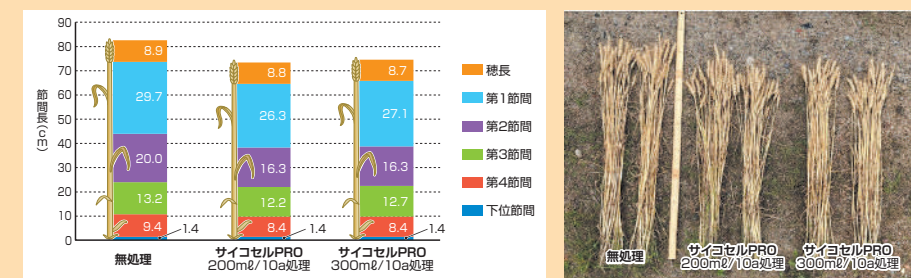
倒伏のリスクが下がり、施肥量を増やすことが可能になります。

サイコセル®PRO

登録番号: 第23589号
有効成分: クロルメコート...65.8%
毒性: 医薬用外劇物

■サイコセル®PRO試験事例

本州: 幼穂形成期処理における茎稈の伸長抑制試験(節間の測定結果) 2023年 愛知県西尾市

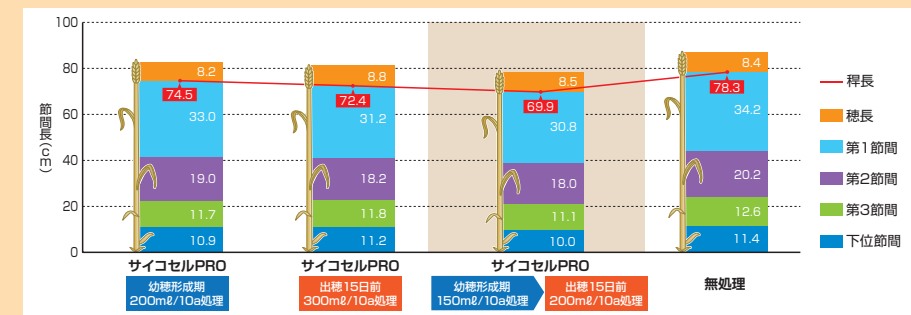


試験概要

試験機関: BASFジャパン株式会社 社内試験
品種: きぬあかり
は種日: 2022年11月26日
散布日: 2023年3月20日
調査日: 2023年5月25日

- 10a当り200mℓ処理区、300mℓ処理区とも、全稈長で約11~12%の抑制効果を示しました。
- 第2節間への効果が最も大きく、約20%の抑制効果を示しました。

北海道: 2回処理における茎稈の伸長抑制試験 2018年 北海道河東郡音更町



試験概要

試験機関: BASFジャパン株式会社 社内試験
品種: きたほなみ
は種日: 2017年9月23日
散布日: 幼穂形成期: 2018年5月7日
出穂15日前: 2018年5月22日
調査日: 2018年7月20日

- 2回に分けて散布することで、麦の生育状況に合わせて、バランスよく節間の伸長を抑えることができました。
- 生育に合わせて散布できるので、より安定した効果が得られます。

■サイコセル®PROの適用作物と使用方法

作物名	使用目的	10a当り使用量	10a当り使用回数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	クロルメコートを含む農薬の総使用回数
小麦(春播)	茎稈の伸長抑制	150mℓ	1回	6葉期前後(草丈30~40cm)	1回	茎葉散布	北海道	1回
小麦(秋播)	茎稈の伸長抑制	150~200mℓ	100回	幼穂形成期	1回	茎葉散布	北海道	2回以内(幼穂形成期は1回以内、幼穂形成期後は1回以内)
		200~300mℓ		出穂前20~10日(草丈約40~60cm)				
				出穂前40~20日(幼穂形成期後~第2節出現期)			東北以南	

秋まき小麦の散布適期の目安は、ザルビオの生育予測ステージ機能で確認できます。

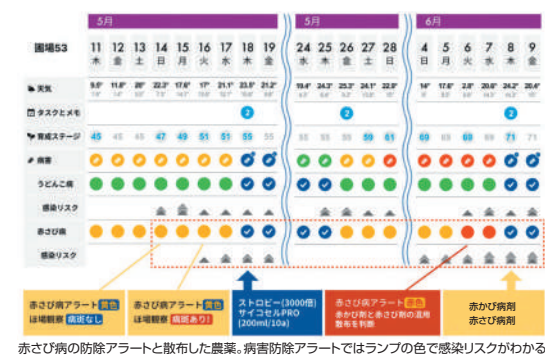


「病害防除推奨アラート」活用事例

赤さび病との苦闘から反収アップへ!



川田 透さん(北海道雨竜郡北竜町)
栽培作物: 水稲、小麦、大豆 栽培面積: 35ha



「病害防除推奨アラート」の活用で、赤さび病の管理はどのように変わりましたか?
病害防除アラートでは感染リスクが色でわかります。今年は黄色(中程度の病害リスクレベル)のアラートが続いたタイミングで、赤さび病を対象にストロビーフロアブルを散布しました。今まで防除をしたことがない時期でしたが、赤さび病を抑えることができました。その後、赤さび病防除のタイミングで、赤さび病薬剤を混用して散布したところ、どちらの病害も全く発生が見られませんでした。近隣の圃場では赤さび病の多く発生している中、ザルビオのデータに沿って対応したことで、良い結果を出せました。

赤さび病管理の他にも病害防除推奨アラートで得られたメリットを教えてください。
適期防除で品質・収量が向上し、地域平均の反収が8俵を下回っていたところを、私のところでは約13俵と大きな成果を出すことができました。また、赤さび病への不安から毎日2時間かけていた圃場の見回りも、ザルビオが感染リスクを知らせてくれるおかげで1時間程度に短縮できましたし、防除回数も減らすことができ、省力化にもつながりましたね。

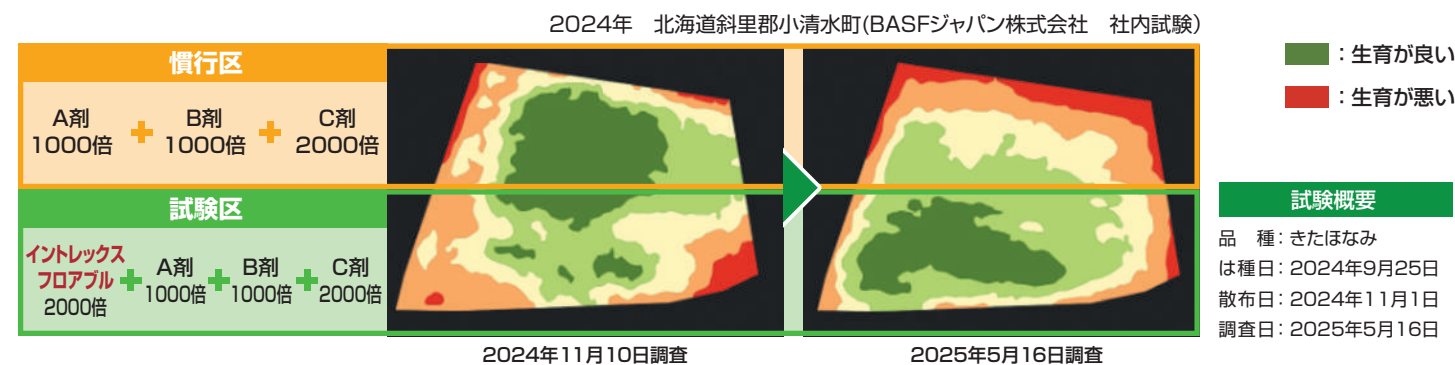
追肥方法に変化はありましたか?
以前は経験と勘に頼って、生育不良の一帯に広く均等に追肥していました。今はザルビオの生育マップ機能で生育状況を確認できるようになり、生育の悪い場所に重点的に肥料を撒けるようになりました。可変施肥機は未導入ですが、ブロードキャスターの散布や走行を工夫し、同等の効果を狙っています。

追肥のタイミングに変化はありましたか?
年ごとに気象条件が変わるので判断が難しく、以前は普及所の方のアドバイスを参考にしていたのですが、常にサポートを受けられるわけではないのが課題でした。しかし、現在はザルビオで生育状況や圃場の天気予報をリアルタイムで確認できるので、最適なタイミングでの追肥が可能になりました。

ザルビオを活用した成果

- 1回あたりの見回りを2時間から1時間に削減
- 地力や育成ステージに合わせた基肥・追肥を実現
- 適期防除の実現
- 収量の向上

赤さび病を対象としたイントレックス®フロアブル散布区の生育比較試験(ザルビオ生育マップから)



イントレックス®フロアブル散布区は赤さび病を抑制した結果、その後の生育も良好に推移しました。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手が届く所には置かないでください。●使用後の空容器は農場に放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。●防除日程を記録しましょう。本資料は2025年●月の知見に基づいて作成されています。

BASFジャパン株式会社

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号 OVOL日本橋ビル3階
☎0120-014-660 <https://crop-protection.basf.co.jp/>

BASF-0000 0 202000



BASF栽培支援ソリューション ガイドブック(小麦版)



あなたの圃場に合った 栽培管理を提案いたします。

最先端の栽培管理支援システム
xarvio(ザルビオ)フィールドマネージャー

これからの 小麦栽培に貢献する BASFの農業ソリューション

国産小麦への関心が高まる今、BASFは農業製品とデジタルサービスを組み合わせたトータルソリューションで、生産現場の多様な課題解決を支援いたします。高品質・多収をめざす小麦づくりに、ぜひお役立てください。

小麦栽培でのこんなお悩み

- その年の状況に合わせた作業計画を立てたい
- 適期防除の見定めが難しい
- 地力に合わせた効果的な施肥設計を行いたい

最先端の栽培管理支援システム

xarvio®(ザルビオ)フィールドマネージャーがこれからの圃場管理をサポートします。



ザルビオの 主なサポート機能

生育ステージ予測

作付け日、品種、地域の天気(1キロ範囲)等の情報をAI解析し、圃場ごとの生育ステージを予測番号(BBCH)で予測。異常気象や温暖化等で予測が難しくなっている生産者の判断をサポートします。

特長

- 簡単に始められる**
作物の登録を行うだけで、AIが作付け日以降の生育ステージを自動で予測・表示します。
- 作業の適期を判断できる**
重要な生育ステージを予測し、適切な管理作業の時期が近づくとアプリに通知されます。これにより追肥等の適期を逃さず、収量増や品質向上を実現します。

病害防除推奨アラート

生育予測に用いるデータに加えて、品種ごとの病害への抵抗性データや、病害リスクモデルをもとに、病害発生リスクが高まるタイミングを予測してアラートでお知らせします。

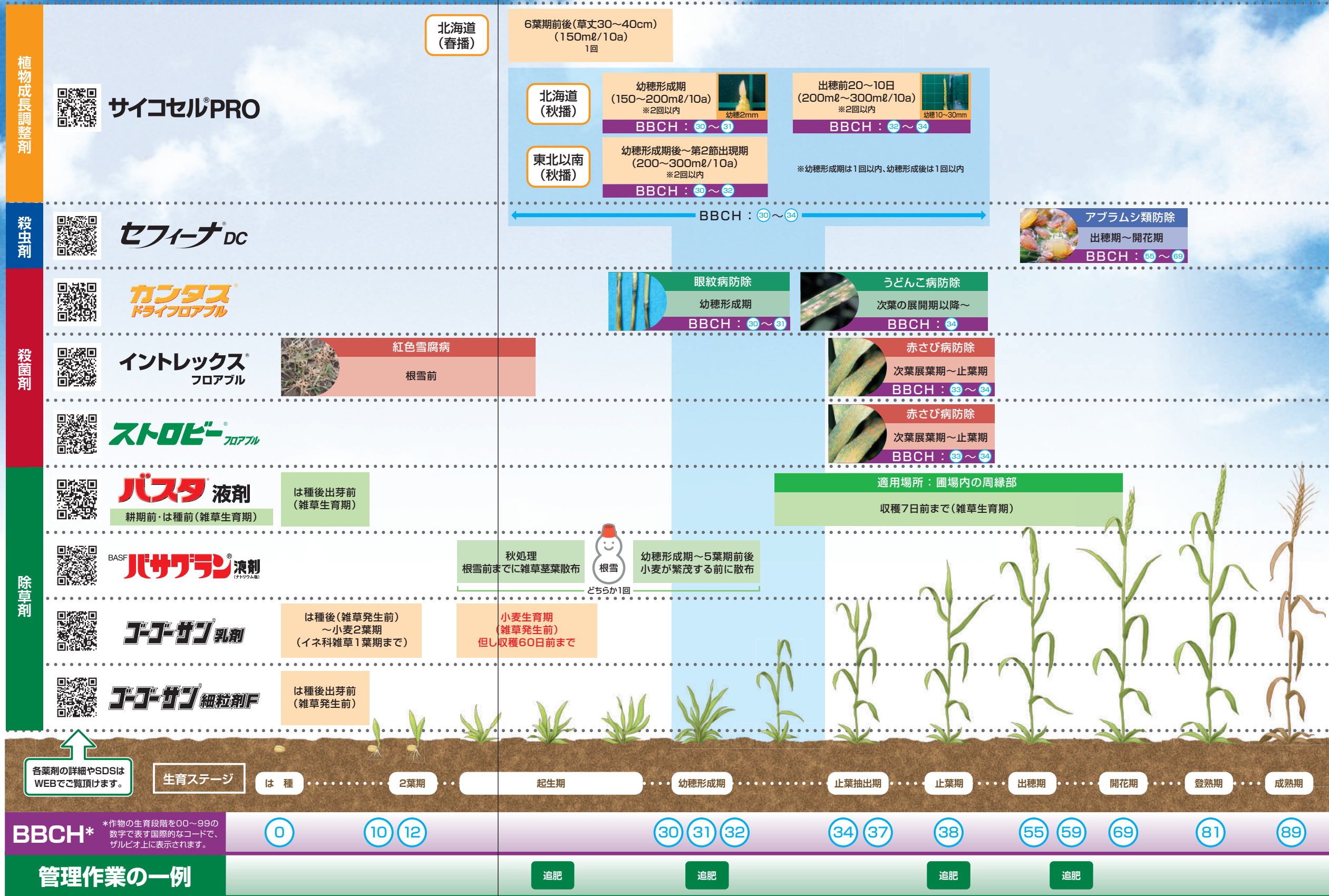
特長

- 病害リスクを予測**
主要な病害の発生リスクを圃場ごとに確認できます。
- 病害の早期発見**
病害アラートが出た際に圃場観察を行うことで早期発見に繋がります。
- 適期に防除ができる**
効果的なタイミングで防除対策を行うことで、農業使用量を最適化できます。

「病害防除推奨アラート」の使い方ガイド



- 主要病害のアラートを確認することで、防除計画が立てやすくなります。
- 0日防除(赤さび病対策)の散布適期を確認する。
- 赤かび病の発生リスクを、各所からの通知より先に確認しておく。



植物成長調整剤
殺虫剤
殺菌剤
除草剤
除雪剤

サイコセルPRO
サイコセルPRO

セフィーナDC
セフィーナDC

カンダスドライフロアブル
カンダスドライフロアブル

イントレックスフロアブル
イントレックスフロアブル

ストロビーフロアブル
ストロビーフロアブル

バスタ液剤
バスタ液剤

バサクラン液剤
バサクラン液剤

アゴサン乳剤
アゴサン乳剤

アゴサン細粒剤F
アゴサン細粒剤F

BASF小麦用ソリューションラインナップ 適用病害虫・雑草と使用方法(小麦のみ抜粋)

※サイコセルPROの詳細については、表面の裏表紙横ページをご覧ください。

殺虫剤

展着剤不要の新規系統殺虫剤

- 新系統(IRAC:9D)のアブラムシ剤で、吸汁を素早く阻害します
- 展着剤無加用でも高い付着力と拡張性をDC製剤が実現します
- 浸透性を有する他、高い耐雨性および残効性を示します。

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	10a当り使用量	使用時期	使用方法
小麦	アブラムシ類	2000~4000	60~150ℓ	収穫前日まで	散布

本剤の使用回数: 2回以内 アフィドピロベンを含む農業の総使用回数: 2回以内

殺菌剤

眼紋病対策の鉄板。うどんこ病にも効果あり

- 眼紋病に対して高い効果を示す、SDHI系殺菌剤です。
- 浸透性により有効成分が速やかに植物体内へ移行し、長期残効性を有します。

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	10a当り使用量	使用時期	使用方法
小麦	うどんこ病	1500	60~150ℓ	収穫45日前まで	散布
	眼紋病				

本剤の使用回数: 2回以内 ポスカリドを含む農業の総使用回数: 2回以内

殺菌剤

赤さび病はもちろん 紅色雪腐病にも高い効果

- 赤さび病を強く抑えるSDHI系殺菌剤です。
- 根雪前の雪腐病防除に用いることで、春先の小麦の活力をサポートします。

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	10a当り使用量	使用時期	使用方法
小麦	紅色雪腐病	1000~1500	60~150ℓ	根雪前	散布
	雪腐小粒菌核病	2000			
	雪腐大粒菌核病	8~16	0.8ℓ	収穫7日前まで	無人航空機による散布
	赤さび病	1000	60~150ℓ		散布
	赤かび病	2000			
	うどんこ病	2000			

本剤の使用回数: (紅色雪腐病、雪腐小粒菌核病、雪腐大粒菌核病: 4回以内)、(赤さび病、赤かび病、うどんこ病: 3回以内) フルネキバキドを含む農業の総使用回数: 4回以内(撒雪後は3回以内)

殺菌剤

にんじん等の野菜にも登録あり

- 体系に組み込むことで、赤さび病等を抑えて小麦を元気に保ちます。
- にんじん等の野菜にも登録があり、いぶし銀の活躍が見込まれます。

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	10a当り使用量	使用時期	使用方法
小麦	うどんこ病	2000~3000	60~150ℓ	収穫14日前まで	散布
	赤かび病				
	赤さび病				
	赤かび病	500	25ℓ		

本剤の使用回数: 3回以内 クレンキシムメチルを含む農業の総使用回数: 3回以内

非選択性茎葉処理除草剤

は種後出芽前に雑草を一掃の発想

- 小麦の播種後出芽前に使用可能な唯一のグルホシネート系除草剤(2026年0月0日現在)。
- 雑草を枯らし、後に続く土壌処理からの除草体系を後押しします。

作物名	適用雑草名	適用場所	使用時期	10a当り使用量		使用方法
				薬量	希釈水量	
小麦	一年生雑草	圃場内の周縁部	耕起前・は種前(雑草生育期)	300~750mℓ	100~150ℓ	雑草茎葉散布
			は種後出芽前(雑草生育期)	300~500mℓ		
			収穫7日前まで(雑草生育期)			

本剤の使用回数: 1回(圃場内の周縁部は3回以内) グルホシネート及びグルホシネートPを含む農業の総使用回数: 4回以内(は種後は3回以内)

茎葉処理除草剤

半世紀の実績を誇る 信頼の除草剤

- イネカミツレ、コシカギク等の手強い広葉雑草もしっかり防除。
- 光合成阻害系の茎葉処理除草剤で、散布後の晴天で効果が高まります。

作物名	適用雑草名	適用場所	10a当り使用量		使用方法
			薬量	希釈水量	
小麦	一年生雑草(イネ科を除く)	生育期但し収穫45日前まで	100~200mℓ	70~100ℓ	雑草茎葉散布又は全面散布

本剤の使用回数: 1回 本剤およびベンチアゾールを含む農業の総使用回数: 1回

土壌処理除草剤

新たな選択剤をあなたの除草体系に

- 土壌への強い吸着力で、長期残効を有します。
- イネ科、広葉を含む広い草種の発生を抑えます。

■ゴーコーサン乳剤の適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	10a当り使用量		使用方法
			薬量	希釈水量	
小麦	一年生雑草	は種後(雑草発生前)~小麦2葉期(イネ科雑草1葉期まで)	300~500mℓ	70~100ℓ	雑草茎葉散布又は全面土壌散布
		生育期(雑草発生前)但し収穫60日前まで			

本剤の使用回数: 1回 ベンディメタリンを含む農業の総使用回数: 1回